



平成 21 年 5 月 22 日

各 位

グラウンド・ファイナンシャル・アドバイザー株式会社
代表取締役 佐藤 明彦
(JASDAQ・コード番号：8783)
問い合わせ先 取締役 平野 公久
電話 03-5532-1031

新スキームの構築及び第1号案件のクローズに関するお知らせ
～ ニーズを捉えた「新形態の不動産投資スキーム」について ～

不動産の流動化・証券化に関するアレンジャー業務を推進しているグラウンド・ファイナンシャル・アドバイザー株式会社（住所：東京都港区、代表者：佐藤明彦）は、平成 21 年 5 月 14 日に開示しております「平成 21 年 3 月期 決算短信（非連結）」内にてお知らせしておりました新スキームにつきまして、検討及び構築を進めておりましたが、この度、平成 21 年 5 月 22 日に第 1 号案件をクローズいたしましたので、その新スキームの概要と併せましてお知らせいたします。

不動産ファイナンス市場におきましては、サブプライム・ローン問題を発端とした金融市場の混乱の影響により、金融機関等による資金供与が絞り込まれ、不動産取引の流動性が極端に低下する状況が続いております。こういった状況下、エクイティ投資家におけるデット性資金の需要には切実なものがあり、新スキームはこのようなニーズに応えるべく開発されたものです。

今次クローズいたしました新スキームでは、東京都内所在の収益物件に対する不動産投資について、資産家の資金をデット性の投資資金として取り込んだ上で、不動産へ共同投資する形態を採っております。これによりエクイティ投資家はレバレッジを効かせた不動産投資が可能になるというメリットがあります。

当社は通常のストラクチャリング業務案件と同様にスキーム構築及びその組成業務、ならびに組成されたスキームの期中管理業務としてのアドバイザー業務を提供することとなります。

当社は既に、「マルチアセットスキーム」という小口不動産ノンリコース・ローンプログラムの開発実績がありますが、今後も「クライアントに対して最適な金融サービスを提供するプロフェッショナル・ファーム」となるべく、市場環境変化に対応した新たなサービス提供に努力を続けて参ります。

*本件による今期業績へ与える影響は未定であります。今期以降の業績に影響がある場合は、改めて開示いたします。

以上